

◆受賞など◆

【優秀論文賞受賞】当財団の安順姫研究員が、日本保健福祉学会の今年度の優秀論文賞に選ばれました。論文は「地域在住高齢者におけるポジティブ心理学的介入を取り入れたうつ予防プログラムの効果」です。概要につきましては、日本保健福祉学会のホームページ (https://www.jstage.jst.go.jp/article/hwelfare/28/1/28_1/_article/-char/ja) をご参照ください。

◆その他◆

【Diaレポート】当財団の2021年度の研究・活動実績、組織、財務状況等をご報告する「Diaレポート2021」を7月に発行し、財団ホームページにも公開

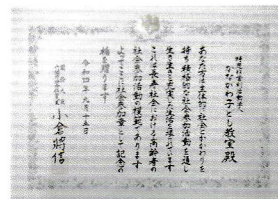
【ダイアル更新】「社会老年学文献データベース(Dial)」の第41回更新(新規登録354件)を完了(6/1)。登録論文総数は13,333件

<お知らせ>

内閣府の広報・啓発活動「エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例」(※1)の本年度の選考結果(※2)が9月9日に公表され、当財団とゆかりの深い「特定非営利活動法人かながわ子ども教室」が、社会参加活動事例に選出されました。

当団体は、シニア世代が知識と経験を生かし「理科好きの子どもを育てる」「子どもの健全な人格形成に寄与する」ことを目的として2004年に発足し、当初はコミュニティーセンター等で活動していましたが、その後小学校の正規授業・理科クラブ、地区センター、児童相談所、放課後キッズクラブ、学童保育等でも教室を開催するようになり、現在は小学生を対象に、「科学」21教室、「暮らし」4教室を運営しています。さらに、川崎市主催の「青少年フェスティバル」、厚生労働省等主催の「ねんりんピック」等、活動範囲を広げています。

当団体は2015年度にも選考されましたが、コロナ禍にオンライン教室に積極的に取り組む等、創意工夫により活動を維持・発展させている点が高く評価されました。



「社会参加章」と「記念の楯」



内閣府に代わり、当財団より授与

(左が小島啓三郎理事長)

※1 年齢にとらわれず自らの責任と能力により自由で生き生きとした生活を送っている高齢者(エイジレス・ライフ実践事例)や地域で社会参加活動を積極的に行っている高齢者のグループ等(社会参加活動事例)を広く紹介することにより、高齢者やこれから高齢期を迎える国民の参考とってもらうことがねらい。

※2 都道府県・政令指定都市・中核市及び高齢者関連団体から推薦された候補から、内閣府内の選考委員会において、エイジレス・ライフ実践事例55名(推薦82名)、社会参加活動事例40団体(推薦52団体)が選出されました。

発行者 公益財団法人 **ダイヤ高齢社会研究財団**
〒160-0022
東京都新宿区新宿 1-34-5 VERDE VISTA 新宿御苑 3F
TEL: 03-5919-1631 FAX: 03-5919-1641
E-mail: info@dia.or.jp <https://dia.or.jp>

編集人 中島 保

製作 橋本確文堂 (三菱製紙ホワイトニューVマット)

発行 2022.10.25 / No.108